

輸送動向について（12月分）

平成24年1月

1. 輸送概況

今月は、東北線において強風による輸送障害等が発生し、月全体では高速貨99本、専貨5本が運休した。

荷動きについては、震災による生産減に加え、欧州の経済危機及び円高による輸出産業等の販売減の影響もあり、月を通して前年を下回った。

コンテナ貨物は、農産品・青果物、自動車部品が前年を上回ったものの、紙・パルプ、積合せ貨物等が前年を下回り、全体では前年比96.0%となった。農産品・青果物は北海道からの米や生野菜等の出荷が好調に推移した。一方、東北の生産拠点が被災した紙・パルプは一部工場を除き操業が再開し減少幅が縮小した。また、積合せ貨物は景気の悪化に伴う貨物量減少の影響を強く受け大きく減送となった。

車扱貨物は、石油が前年を上回ったものの、セメント・石灰石等が前年を下回り、全体では前年比99.1%となった。石油は、月の後半を中心に気温が低下した影響により灯油等の需要が高まり増送となった。セメント・石灰石は工場の定期修理時期が変更されたことにより減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,791	1,865	96.0%	14,592	15,913	91.7%
車 扱	1,110	1,120	99.1%	6,962	7,516	92.6%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	191	182	9	104.9%
	化学工業品	162	169	-7	95.9%
	化学薬品	125	134	-9	93.3%
	食料工業品	306	317	-11	96.5%
	紙・パルプ	236	264	-28	89.4%
	他工業品	135	137	-2	98.5%
	積合せ貨物	197	211	-14	93.4%
	自動車部品	75	73	2	102.7%
	家電・情報機器	43	51	-8	84.3%
	エコ関連物資	30	31	-1	96.8%
	その他	291	296	-5	98.3%
	コンテナ計	1,791	1,865	-74	96.0%
車 扱	石油	823	812	11	101.2%
	セメント・石灰石	97	114	-17	84.6%
	車 両	94	107	-13	87.9%
	その他	97	87	10	111.3%
	車 扱 計	1,110	1,120	-10	99.1%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)